

睡眠時無呼吸症候群検査

睡眠時無呼吸症候群を診断するための『終夜睡眠ポリグラフィ検査』を実施しております。日中の強い眠気、夜間就寝中の大きなイビキや呼吸停止、起床時の頭痛など症状がある方は要注意です。

当院ではこの検査を外来にて行います。(入院希望での検査を希望される方は1泊入院となります。)

(当院での治療の流れ)

自己診断チェックアンケート

簡易スクリーニング検査
終夜睡眠ポリグラフィ検査
(外来または一泊入院)



終夜睡眠ポリオグラフィ
保険適応 1割負担 720円
3割負担 2140円

中・重症

CPAP

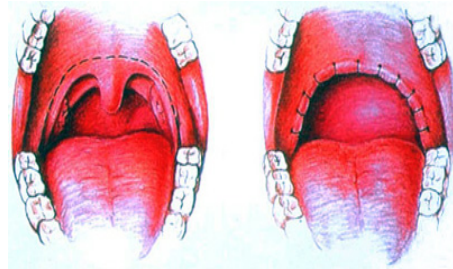
(経鼻的持続陽圧呼吸療法)



睡眠時無呼吸症候群の治療法の中で最も有効性が高く安全かつ確実な方法がCPAP療法です。睡眠中に鼻マスクを装着し、鼻マスクから空気が一定圧で送り込まれ、睡眠中に緩んだ喉の筋肉によって喉が塞がってしまうのを防ぎます。送られてくるのは、酸素ではなく空気です。(保険適応)

手術

耳鼻咽喉科



無呼吸の責任部位が明確な場合に適応されます。小児の睡眠時無呼吸症候群の大半は扁桃肥大が原因で、そのため扁桃摘出術が有効です。全身麻酔で行う手術です。成人の場合は、責任部位が明確でないことが多く、また肥満を合併されているケースも多いため、手術適応には慎重な判断が必要です。

軽症

口腔外科・歯科
マウスピース



主にいびき症の方や軽症の無呼吸症の方に有効な治療がマウスピース療法です。無呼吸症の方に適応されるマウスピースは、下顎を前方に数mm突き出してかみ合わせようにするものです。これにより咽頭部が広がり、睡眠中に喉が狭窄／閉塞することを防ぎます。(保険適応)